

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

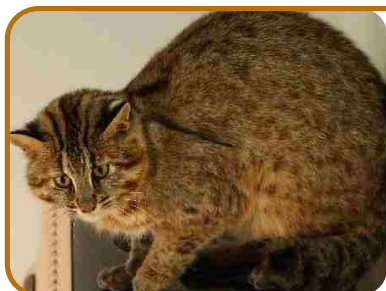
2022 夏号
NO. 94

2匹のツシマヤマネコが 野生復帰しました！

対馬野生生物保護センターでケガの治療をしていたMn-102（愛称：うねくん）が2月23日に、Mo-100（愛称：シマト）が4月15日に野生復帰しました！

どちらもシカやイノシシを狙ったくくりわなで錯誤捕獲されたヤマネコで、保護した時にくくりわながかかっていた脚に、くくりわなが原因と思われる外傷があったため、センターで治療をしていた個体になります。治療が終了したため、それぞれが保護された場所の近くで放獣されました。

どちらもケガの影響を感じさせないほど元気に山へと駆け抜けていき、一安心。これも、すぐに発見し、通報してくださった方々のおかげです。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！！



Mn-102（うねくん）

放獣の際になかなかケージからでてこず、立ち会ったみんなの視線と心配を独り占めしたうねくん。追跡調査で元気に生活しているのを確認中！

Mo-100（シマト）

治療中の入院室で自分で自分の体を毎日のように汚してしまい、飼育員や獣医さんを困らせていたシマト。放獣の際は、軽やかに駆け抜けていきました！



くくりわな等で錯誤捕獲されてしまったヤマネコはケガをしている場合が多くあり、そのままにしていると命を落としてしまうことがあります。**故意でなければヤマネコを錯誤捕獲してしまっても罪に問われることはありません。ヤマネコが罠にかかってしまった場合は、まずはセンターまでご通報をお願いいたします！**

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは耳の後ろに白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）0920-84-5577 ※24時間対応

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は開館 翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウイルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。



ツシマヤマネコの交通事故が発生しました

4月16日に美津島町小船越の国道で、今年度1件目になるツシマヤマネコの交通事故が発生しました。

ツシマヤマネコは夕方～明け方に活発に行動するので、その時間帯に運転される際は、野生動物に注意しながら車を運転していただきますようご協力をお願いいたします。また、車に轢かれてすぐのツシマヤマネコは生きていることがあり、その状態でセンターへ収容できれば、治療し、命を助けられることがあります。

故意でなければツシマヤマネコを車で轢いてしまっても罪に問われることはありませんので、もしもツシマヤマネコを轢いてしまった場合や道路でうずくまっているツシマヤマネコを見かけた場合は、対馬野生生物保護センター（0920-84-5577）までご連絡をお願いいたします。



美津島町
小船越

新職員のご挨拶

4月より希少種保護増殖等専門員としてセンターに着任しました「畑」です。ツシマヤマネコの保全を通して多くの方々と良い関係・環境を作れるように、一日一日を大切に頑張ります。家族共々よろしくお願いいたします。

対馬野生生物
保護センター
希少種保護増殖等専門員

はた だいじろう
畑 大二郎



4月より飼育員として入職しました五十嵐朋美と申します。専門学校では野生動物保護について勉強してきました。至らぬ点が多く日々学ぶことばかりですが、ツシマヤマネコ保護の力になれるよう精進していきます！どうぞよろしくお願いいたします。

対馬野生生物
保護センター
飼育員

いがらし ともみ
五十嵐 朋美



専門学生時代に参加したツシマラボシジミの飼育業務で対馬の自然に興味を持ち、全身で対馬を感じたくて東京からやって来ました。今まで地元や関係者の方々が作り上げてきた活動を盛り上げていくのはもちろん、自分だからできることでツシマヤマネコをはじめとした対馬の自然を守るために貢献したいです。よろしくお願いいたします！

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官補佐

みなみ ゆき
南 優妃



初めまして。この度ツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育員として働くことになりました。長谷夏純と申します。対馬について、ヤマネコについてまだまだ勉強不足ではありますが色々な経験をして成長していきたいと思っております。対馬の魅力をお教えいただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

ながや かすみ
長谷 夏純





No.42 もみじ、No.73 ナミ、Fk-89 みーちゃん死亡のお知らせ

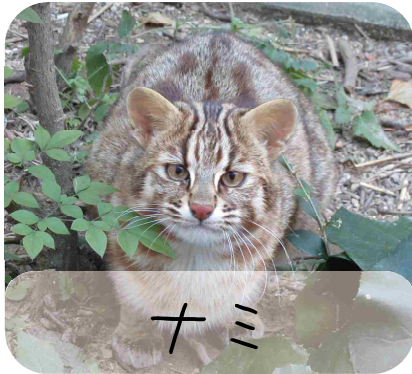
ツシマヤマネコの「みーちゃん」が令和3年11月30日によこはま動物園ズーラシアで、「ナミ」が令和4年1月31日に対馬野生生物保護センターで、「もみじ」が令和4年4月19日に富山市ファミリーパークで、それぞれ息を引き取りました。

「ナミ」は福岡市動物園生まれで平成28年11月に対馬野生生物保護センターにやってきました。「もみじ」は初めての動物園生まれの訓練個体として令和元年10月から令和3年2月まで、「みーちゃん」は初めての野生由来の訓練個体と令和2年6月から令和3年11月まで、ツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育していました。

この3頭は、ツシマヤマネコの飼育管理技術の向上や野生復帰技術の開発に多くの知見や課題与えてくれました。

これまで、3頭を応援し見守って下さった皆様には心から御礼申し上げます。

「ナミ」、「もみじ」、「みーちゃん」、今まで本当にありがとう！



ナミ



もみじ



みーちゃん

退職のご挨拶

ツシマヤマネコの飼育員として働かせて頂きました。ツシマヤマネコの様々な魅力を身近に感じる事ができ本当にうれしく思います。この貴重な経験を大切に新天地でも元気に活躍して参ります。短い間ではございましたが、本当にありがとうございました。

対馬野生生物
保護センター
飼育員

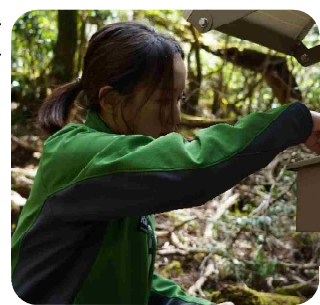
ほしの ゆうた
星野 悠太



新卒で対馬へ来てから2年間、本当にあっという間でした。素敵な経験を沢山させていただきました。ツシマヤマネコや対馬の自然に関わられたこと、対馬で皆さんと出会えたことに感謝します！ありがとうございました♪

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官補佐

なかもと あいみ
中本 合海



対馬ではいろいろな方にお世話になり、そのおかげで3年間仕事を行うことができました。ツシマヤマネコの飼育に携わった経験を活かして、今後もより精進して参ります。本当にありがとうございました。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

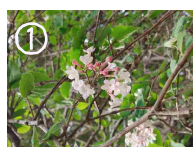
たなえ としき
田苗 稔輝



生き物クイズ

次の写真のうち
オオクマザサミはどれでしょう？

答えはウラ(4ページ)をみてね！



昨年12月、名古屋市東山動物園よりツシマヤマネコ野生順化ステーションに新たなツシマヤマネコNo. 94 さすなが来ました。ステーションでは初めての、その年生まれの人の手で育てられた個体で、生きたネズミの捕獲が未経験の状態での導入となり、ステーションとしても挑戦的な取り組みと言え、新たな知見が得られることが期待されました。



訓練開始当初は、ネズミの噛み殺しや、アオダイショウの捕獲も上手にできませんでしたが、管理区域で訓練を粘り強く続けることで、これらの捕獲行動も上達してきました。その成果もあり、対馬の自然を再現した広大な野生順化ケージでは、これまでの訓練個体の中で最も早くノネズミ類（放飼から5日目）や鳥類（放飼から4日目）の捕食が確認できました。

今後も野生順化ケージの中でどんな行動を魅せてくれるのか、楽しみです！！



「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

カワウソの目撃情報大募集！

平成29年に対馬でユーラシアカワウソが発見されて以降、生息状況に不明な点が多いことから環境省ではカワウソの目撃情報を収集しています！



カワウソ類は水辺を好む食肉目で、泳ぐことに適した体の特徴があります。カワウソやその痕跡を目撃した場合は対馬野生生物保護センターまで情報提供をお願いいたします！

手に水掻きがある



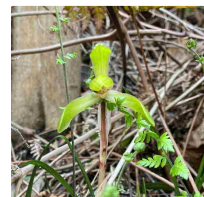
カワウソ写真提供：よこはま動物園ズーラシア

編集後記

この前、佐護の田んぼにコウノトリがやってきていました。まさか対馬でコウノトリが見れるとは思わず、かなりビックリしました。なかなかのレアケースのようで、これも対馬の面白ところだなと感じました！

今日の一枚 by 木滑

春を代表するシュンランの開花を見ることができませんでした。かつては足の踏み場もないほど咲いていたらしいのですが、近年は乱獲やシカの被害により数が減少してしまったといわれています。今回見つけた場所は藪に少し隠れた場所だったので、シカに見つからなかったのかもしれませんが。きれいな緑の色合いが春を感じさせます。



いきものクイズの答え

正解は②。

オオチョウジガマズミは日本では対馬にのみ分布しており、3~4月かけて白色の花を咲かせます。②はコバノガマズミ。山に入ると林道端で見つけることがあります。③はマルバグミ。海岸近くに分布するグミで果実は食べられますが、やや渋みがあります。